

政 策 14

～環境にやさしい地域社会をつくれます～

後期基本計画における「めざそう値」等一覧

【めざしたい将来像】

地球温暖化防止を推進するため、行政と市民が一体となって、日常生活における省エネルギーを加速させるとともに、新エネルギーの導入に努めて、低炭素社会の基盤を作り上げます。また、市民・事業者及び市が協働して、資源の浪費とごみの排出を可能な限り少なくし、徹底した環境保全に努める社会「資源循環型社会」の構築をめざします。

上段：めざそう値(目標) 下段：実績

	前期基本計画			現状値	後期基本計画	
	13年度	19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
温室効果ガス削減量(CO ₂ 換算)	—	—	—	—	281,600t	446,800t
	—	—	(1,849,000t) 温室効果ガス総排出量(CO ₂ 換算) (H18)	174,320t (平成23年度 実績値)		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

松戸市減CO₂大作戦の中期目標達成に必要なCO₂削減量を計算したものとし、446,800tをめざす。

上段：めざそう値(目標) 下段：実績

	前期基本計画			現状値	後期基本計画	
	13年度	19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
廃棄物の最終処分量	—	19,000 t	18,000 t	—	—	11,000t
	20,847 t	18,640 t	17,733 t	17,306 t		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

松戸市ごみ処理基本計画で目標値として設定した11,000tをめざす。

上段：めざそう値(目標) 下段：実績

	前期基本計画			現状値	後期基本計画	
	13年度	19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
二酸化窒素の環境基準達成率	—	—	—	—	100%	100%
	75%	75%	100%	100%		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

市民・事業者および市が協働して資源の浪費を可能な限り少なくし、大気環境を向上させ、全局の環境基準値達成をめざす。

政策14

環境にやさしい地域社会をつくります

1.環境にやさしい行動を促進します

1. 現況と課題

平成23年（2011年）の日本の年平均気温の平年差は+0.15℃で、長期的には100年あたり約1.15℃の割合で上昇しており、特に1990年代以降、高温となる年が頻出しています。

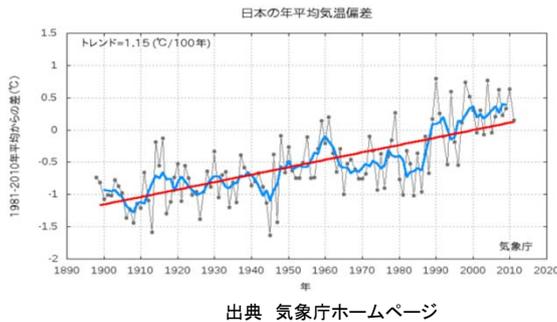
このような温暖化により、私たちの健康や生態系等に甚大な影響が生じることになります。この深刻な危機の解決を図るには、温室効果ガスの排出を抑えることが必要で、家庭や事業所で取り組める省エネルギー行動の推進、低燃費車両や省エネ家電への積極的転換、太陽光等自然の力を生かしたエネルギーの活用など、化石燃料に頼らない「低炭素社会」への取り組みが重要になっています。

本市では、「松戸市地球温暖化対策地域推進計画（松戸市減CO2大作戦）」を中心に、地球温暖化防止に取り組んでいます。しかし、「低炭素社会」実現は、市が単独でできることではなく、市民や事業者、あるいは近隣自治体と市が連携して取り組む必要があります。

【特筆すべきニーズの変化】

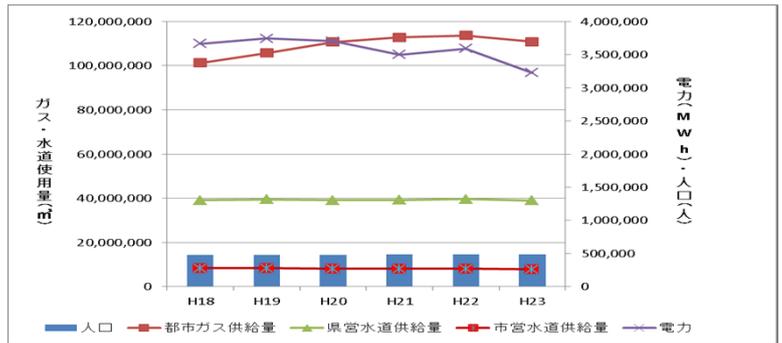
- ① 一般的な家庭や事業者は、太陽光発電など新エネルギーの導入の際に何らかの支援が必要と考えています（ニーズの増）
- ② 環境問題の解決にあたっては、行政だけでなく市民や事業所、NPOなど多様な主体で取り組むべきとの考えが強くなっています（ニーズの増）

●日本の年平均気温平年差

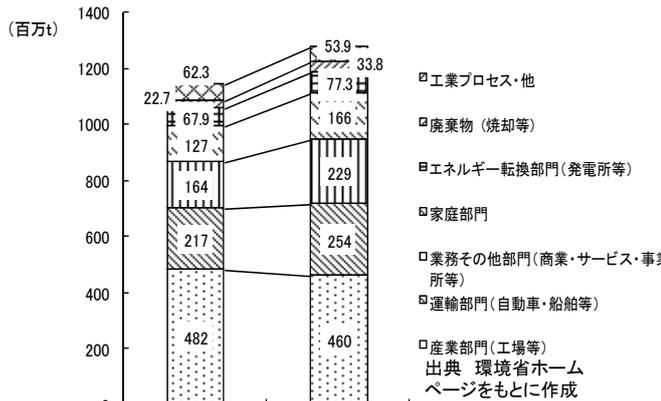


●松戸市のエネルギー使用量と人口の推移

出典 松戸市統計をもとに作成



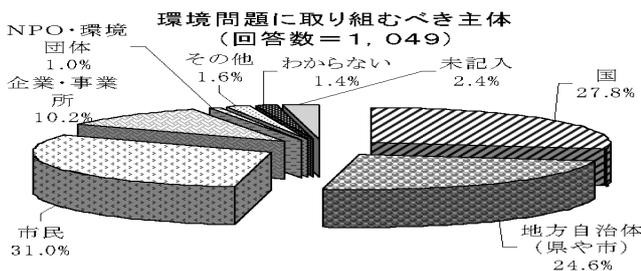
●日本の二酸化炭素排出量の変化



●温暖化対策の推進に関し、有効と思われる手段

1. 大規模開発や、大型建物の建築の際に、省エネルギー構造や太陽光発電などの設備の導入を義務づける条例などを整備する。 47.2%
2. 経営規模や自動車の保有台数など、一定の基準を設けた上で、事業所などに温室効果ガス削減の義務付けをする。 20.6%
3. 省エネ機器や設備を導入する個人や企業等に補助金を交付する。 45.3%
4. 地球にやさしい行動をたくさん実践している人ほど、多くの特典が得られるような仕組みを、市と小売店などが協議して作り上げる。 26.6%
5. 地球温暖化対策の推進に熱心な団体や個人、企業等を表彰する。 4.9%
6. 地域住民、NPO、ボランティア団体などと市が協力し合って、温暖化防止の協働モデル事業を実施する。 11.0%
7. 国や関連団体の補助事業を紹介して、市内の大きな事業所に省エネルギーシステムなどの導入を呼びかける。 9.2%
8. 公共施設での省エネルギーや新エネルギー設備の導入を積極的に進める。 32.9%
9. 地球温暖化に関するシンポジウムや省エネルギー機器の展示会などを行う。 4.1%
10. テレビ、新聞、広報紙などで、温暖化についての細かい情報を提供する。 28.1%
11. 総合学習等で子供たちへの環境教育を行う。 30.4%
12. 販売価格の何パーセントかが、環境に係わる基金に寄付されるような商品売り出すように企業に呼びかける。 13.1%
13. その他（具体的に） 3.7%
14. 特に有効と思える方策はない。 1.3%

●松戸市民が考える環境問題解決に特にがんばるべき主体



出典 H20 松戸市減CO2大作戦策定に関わる市民アンケート

2. 施策の展開方向

平成20年度に策定した「松戸市地球温暖化対策地域推進計画（松戸市減CO2大作戦）」に定める6つの「改革の柱」をもとに、地球温暖化防止事業を推進していきます。

- i 市民一人ひとりのライフスタイルを改革して、我が家でできる省エネ行動の実施率を向上させます。
- ii 目標をもって省エネに取り組む事業を拡大させ、ワークスタイルを改革します。
- iii 自動車の燃費向上、自家用自動車台数の削減、走行距離の削減、クリーンエネルギー車の拡大を促進し、車社会の改革を進めます。
- iv 省エネルギー仕様の住宅を拡大し、緑を増やすなど都市構造の改革を進めます。
- v 太陽光発電システム等の設置、バイオマス活用を促進し、エネルギー源の改革を進めます。
- vi 省エネ家電への買い替えを促進するなど家電製品などの改革を進めます。

3. 施策を推進していく上での課題

松戸市地球温暖化対策地域推進計画(松戸市減CO2大作戦)の短期戦略期間が平成24年度で終了することから、短期戦略の結果を検証し、また、国のエネルギー政策が大きく変わることから国の動向を踏まえ、松戸市地球温暖化対策地域推進計画の中期計画期間(2030年までの計画)の見直しを図らなければなりません。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 身近な環境対策を行うNPO、企業等があり、市民への啓発活動を行っています（強み）
- ② 省エネルギー・新エネルギーによる環境対策は懸念事項が先行し、機器の導入等には消極的な傾向があります（弱み）

●松戸市が行う環境関係の講座

題名	概要	必要時間	担当	対象学年	留意事項
1 地球温暖化問題を学ぼう！	地球温暖化についてイラストや写真を使ったパワーポイント等で解説。自分たちでできることを考える	45分程度	環境計画課減CO2担当室	4年生以上	
2 地球の環境問題について考えよう！	パワーポイントで環境問題全般をわかりやすく説明。自分たちでできることを考える	45分程度	環境計画課減CO2担当室	4年生以上	
3 試そう！かんきょうをチェックするノート	4週間で完成する環境家計簿を使って地球環境にやさしい生活を始める	45分程度	環境計画課減CO2担当室	5年生以上	ノートのつけ方を勉強し、自宅に持ち帰って取り組みをしてもらいます。その結果を市が分析します。
4 つくろう！みどりのカーテン	つる性植物を利用し夏場の教室内の暑さを和らげる「みどりのカーテン」について説明	45分程度	環境計画課減CO2担当室	4年生以上	講座実施時期 4月～5月末頃まで。
5 家でできる浄化対策	生活雑排水が河川に与える多大な影響について説明し、自分でできることを考える	講義30分 ビデオ15分	河川清流課	低学年から可能	講座実施時期については要相談。
6 日本の音風景100選 柴又帝釈天界隈と失切の渡しについて	ピアノなどで音百選の風景等を紹介し、身近な環境に関心をもっていただく	30分程度	環境保全課	4年生以上	
7 ごみリサイクルについて	ごみの分け方、出し方、減量の方法の工夫、ごみの処理、リサイクルについて総合的に説明	45分程度	環境業務課	4年生以上	

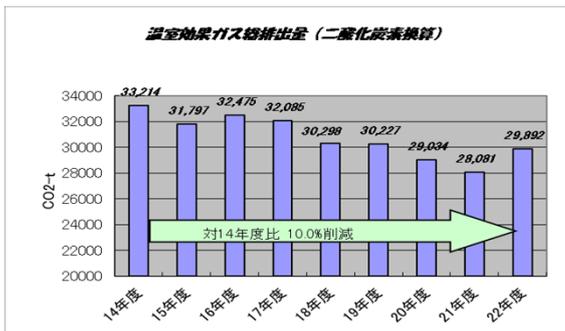
●松戸市役所の「みどりのカーテン（ゴーヤ）植生状況

出典 本市ホームページ(環境計画課資料)

日にち	天候	緑のカーテンある部屋	ない部屋
8月7日	晴	30℃	32℃
8月18日	晴	28℃	32℃
8月25日	曇	29℃	30℃



●松戸市役所関連施設の温室効果ガス(二酸化炭素換算)の削減効果



出典 環境計画課資料

●松戸市内の市民団体などが行う環境関係の講座

題名	概要	必要時間	担当	対象学年	留意事項
1 京葉ガス出稼授業① エコ・クッキング	買い物・料理・片付けをする上での専用にできるエコポイントについて、簡単な調理実習を通して学ぶ	100分程度	京葉ガス㈱環境計画課減CO2担当室紹介	高学年以上	調理の設備が必要。材料費は学校で負担。最大40名程度
2 京葉ガス出稼授業② 冷熱実験	液体窒素を用いた「冷たい世界」を体験しながら、エネルギーについて考える	45分程度	京葉ガス㈱環境計画課減CO2担当室紹介	小学校4年生以上	
3 京葉ガス出稼授業③ 燃料電池	CO2を出さずに発電する新技術「燃料電池」を紹介	45分程度	京葉ガス㈱環境計画課減CO2担当室紹介	中学生以上	最大40名程度
4 京葉ガス出稼授業④ エコはがき作り	事務用紙からできたパルプを使ったはがき作りを体験	45分～80分程度	京葉ガス㈱環境計画課減CO2担当室紹介	小学生以上	水道設備必要。最大60人。低学年の場合は保護者の付き添いをお願いします。
5 京葉ガス出稼授業⑤ 都市ガスが暖かくて	身近な都市ガスが暖かくて居るまでの流れについて、クイズや体験を通して学ぶ	45分程度	京葉ガス㈱環境計画課減CO2担当室紹介	小学校3年生以上	
6 ケアフの栽培から紙すきまで	ケアフを育ててはがき作りを体験する(ハガキ作り単発も可)	90分	市民団体環境計画課減CO2担当室紹介		水道設備とコンセント設備が必要です。
7 紙の面白い性質を学ぶ	紙の繊維の性質を実験で学び、紙を折り、曲げ、組み合わせて強くすることを体験して学ぶ。	45分(1単位)	市民団体環境計画課減CO2担当室紹介	小学生5～6年生	
8 スーパー白くま物語	紙芝居「スーパー白くま物語」や石炭、火力発電機「白くま」等を通して、地球温暖化と私たちの暮らしについて学ぶ。	45分	市民団体環境計画課減CO2担当室紹介	小学校1～3年生	
9 みんなで作る地球の笑顔	紙芝居「みんなで作る地球の笑顔」や石炭、火力発電機「白くま」等を通して、地球温暖化と私たちの暮らしについて学ぶ。	45分～90分	市民団体環境計画課減CO2担当室紹介	小学校4～6年生	
10 バイオマスって なにに	紙芝居又はPowerPoint「バイオマスってなにに」(日産性畜、学芸会等)、バイオマス、バイオマスエネルギーを知り、関心を高めることを学ぶ。	45分～90分(1単位～2単位)	市民団体環境計画課減CO2担当室紹介	小学生4～6年生	
11 先人に学ぶ(黒豆餅のひもひきと紐の結び方)	日本の伝統的な黒豆餅一つで色々な形や大きさの餅をひき、用途によって紐の結び方が異なる。	45分(1単位)	市民団体環境計画課減CO2担当室紹介	小学生1～6年生	
12 なにが「もったいないの？」	なにが「もったいないの?」「なにがエコなの?」をパワーポイントで見せながら、「ふろしき」の利用・活用体験やいろいろなクイズを交えて、昔から言われている「もったいない」を覚えてもらう	45分程度	市民団体環境計画課減CO2担当室紹介	小学校3～6年生	【ヘアースーツ】ちらちに着る際は着た会替付。
13 「もったいない」と3R～あなたにできることがいっぱい～	「ごみ」の分別、「各種マーク」や「どっちこっちクイズ」をおして3Rの重要性と「もったいない」を覚えてもらう。地産地消がCO2削減へつなぐこと、自らの生活が大切だと気付いてもらう	45分程度	市民団体環境計画課減CO2担当室紹介	小学1年～小学1年	代表的な「ごみ」を分別し、ごみ、どっちこっちクイズ、買ったどっちどっち?

出典 本市ホームページ(環境計画課資料)

●省エネルギーを実施する際、松戸市民が考える問題点

1. 省エネの方法がわからない。 11.6%
2. 省エネに取り組む時間がない。 7.3%
3. 省エネ機器は価格が高い。 50.7%
4. 省エネルギー機器を設置する場所がない。 9.9%
5. 省エネルギーの効果がわからない。 24.5%
6. 省エネルギーに取り組むと生活が不便になる。 11.8%
7. 家族が協力してくれない。 14.9%
8. 省エネに関する情報が少ない。 31.2%
9. 特に問題はない。 19.6%
10. その他() 2.8%
11. わからない 1.8%
- 無記入 3.1%

出典 H20 松戸市減CO2大作戦策定に関わる市民アンケート

政策14

環境にやさしい地域社会をつくります

2. 廃棄物による環境負荷を減らします

1. 現況と課題

本市においては、市民一人一日当たりのごみ排出量（集団回収分除く）は、平成12年度の913.5gをピークに平成23年度には770.9gになっています。

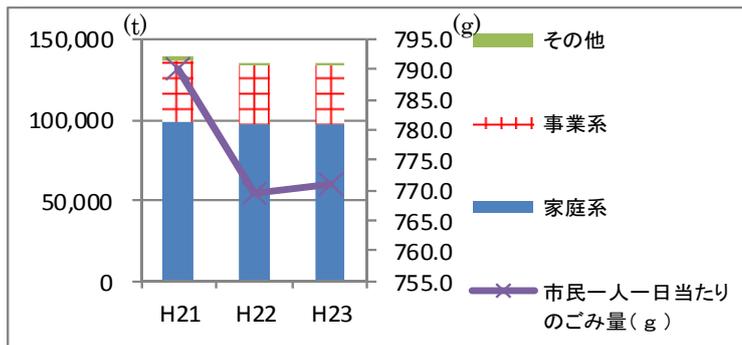
本市で発生したごみは、2ヶ所の焼却処理施設（クリーンセンター、和名ヶ谷クリーンセンター）、1ヶ所の資源化処理施設（資源リサイクルセンター）、1ヶ所の粗大ごみ圧縮処理施設（日暮クリーンセンター）で処理されています。最終処分については、市域の約73%が市街化され、市内に最終処分場を確保することが困難な状況にあることから、そのほぼ全量を市外の民間事業者委ねているのが現状です。なお、廃棄物の最終処分量は、平成13年度の20,847tから平成23年度には17,306tまで減少しています。

今後、ごみの排出抑制、循環的利用、適正な処理処分を確保するため、リデュース（ごみの発生を減らす）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）といった3R施策のより一層の推進が必要となっています。

【特筆すべきニーズの変化】

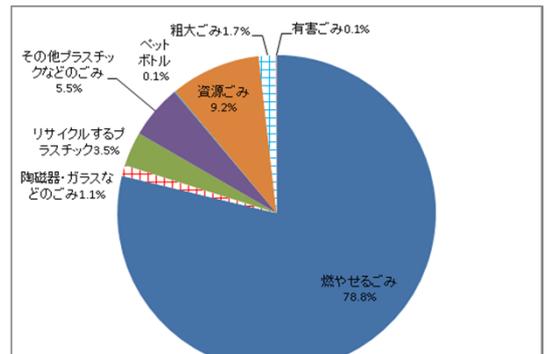
- ① 資源の循環的利用を基調とした社会全体での仕組みづくりが必要とされています（ニーズの増）
- ② 資源循環型社会の構築に向けた取り組みについては、第一に、ごみ発生抑制が重要であると考えられています（ニーズの増）

●松戸市のごみ排出量の推移



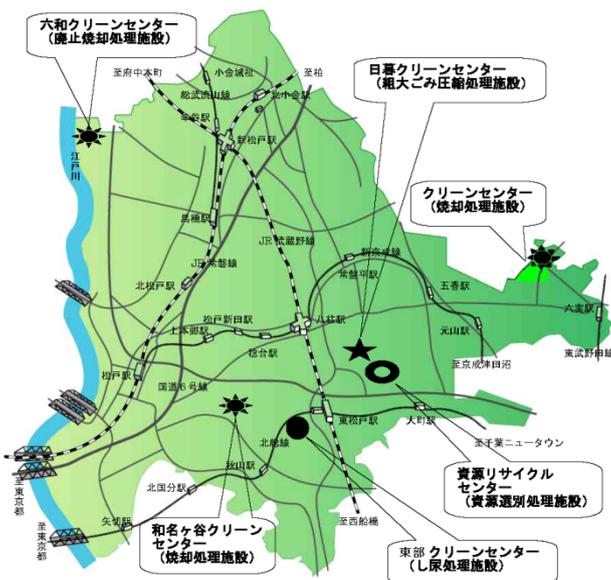
出典 H24 清掃事業概要(環境計画課資料)をもとに作成

●松戸市のごみの種類別内訳(平成23年度)



出典 H24 清掃事業概要(環境計画課資料)をもとに作成

●松戸市のごみ処理施設等の配置状況



出典 H24 清掃事業概要(環境計画課資料)をもとに作成

●循環型社会の形成についての意識

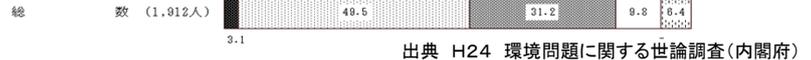
◎循環型社会の形成についての意識

現在の生活水準(物質的な豊かさや便利さ)を落とさず、消費を維持しながら、廃棄物の再使用(リユース)や再生利用(リサイクル)を積極的に進めるなど、できる部分から循環型社会に移行するべきである

現在の生活水準(物質的な豊かさや便利さ)を落とさず、消費を維持しながら、廃棄物の再使用(リユース)や再生利用(リサイクル)を積極的に進めるなど、できる部分から循環型社会に移行するべきである

現在の生活水準(物質的な豊かさや便利さ)を落とさず、消費を維持しながら、廃棄物の再使用(リユース)や再生利用(リサイクル)を積極的に進めるなど、できる部分から循環型社会に移行するべきである

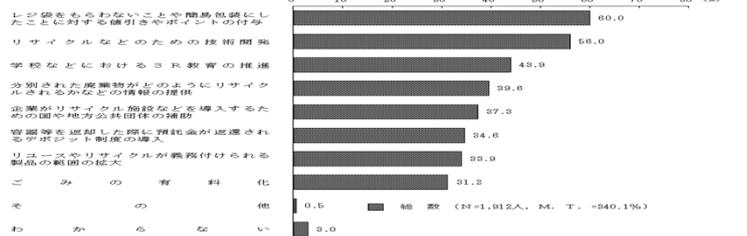
現在の生活水準(物質的な豊かさや便利さ)を落とさず、消費を維持しながら、廃棄物の再使用(リユース)や再生利用(リサイクル)を積極的に進めるなど、できる部分から循環型社会に移行するべきである



出典 H24 環境問題に関する世論調査(内閣府)

●3Rの推進に対する必要性

◎3Rの推進に対する必要性



出典 H24 環境問題に関する世論調査(内閣府)

2. 施策の展開方向

資源循環型社会を構築していく上での基盤となる3R施策を、市民の発意と協働を基本として推進していきます。ごみ減量に向け市民・事業者の自主的な取り組みの推進、資源化の促進や生ごみ処理容器購入費の補助、集団回収活動への支援等を行うとともに焼却灰の一部をエコセメントにするなど、ごみの減量・資源化を推進していきます。収集については、常に最適な収集体制の構築を図っていきます。処理施設の整備については、計画的に必要な整備を行うことで、排出されるごみの適正処理を推進していきます。

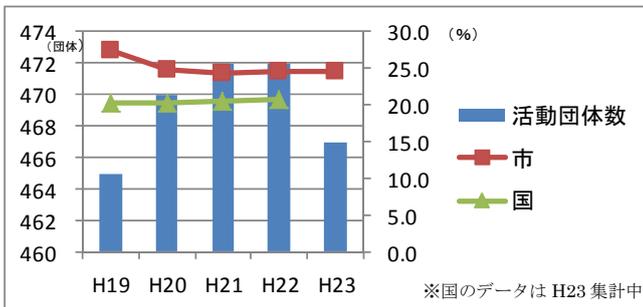
3. 施策を推進していく上での課題

排出者（個人・事業者）のごみ排出に対する意識改革と市内の廃棄物処理施設の効率的な処理体制の確立が課題となっています。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

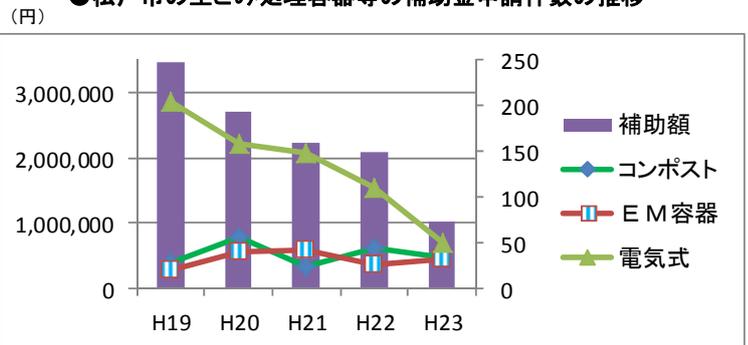
- ① 環境問題やリサイクルの市民意識が高く、市民が出すごみ量も少なくなっています（強み）
- ② ごみ処理施設が老朽化しているため、施設の処置能力の低下が懸念されています（弱み）

●松戸市のリサイクル活動団体数とリサイクル率の推移



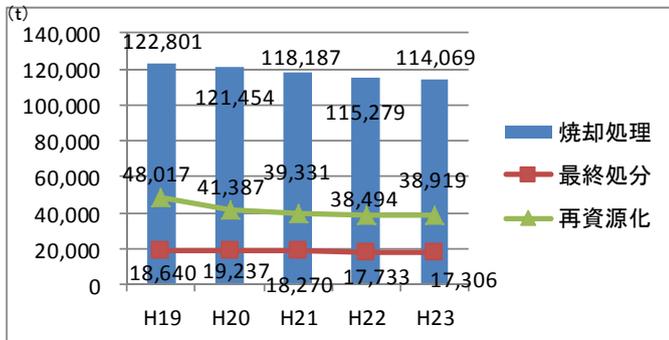
出典 H24 清掃事業概要(環境計画課資料)をもとに作成

●松戸市の生ごみ処理容器等の補助金申請件数の推移



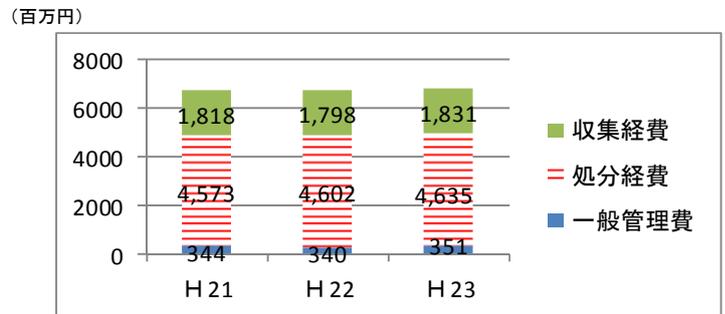
出典 環境業務課資料をもとに作成

●松戸市のごみ処理量等の推移



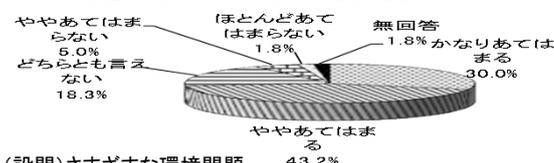
出典 H24 清掃事業概要(環境計画課資料)をもとに作成

●松戸市のごみ処理経費の推移



出典 H24 清掃事業概要(環境計画課資料)をもとに作成

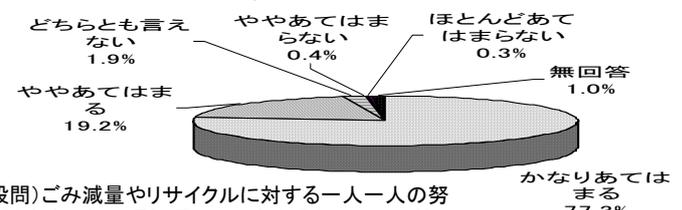
●ごみ問題に関する松戸市民の関心度



(設問)さまざまな環境問題の中でも、特にごみ問題には関心があるとの考えにどの程度あてはまるか？

出典 H15 ごみに関する市民の意識等に関するアンケート調査(環境計画課資料)をもとに作成

●ごみ減量などに関する松戸市民の考え



(設問)ごみ減量やリサイクルに対する一人一人の努力が地球全体の環境保全につながるのと考えにどの程度あてはまるか？

●近隣市比較 1人1日当たりのごみ排出量(g)とリサイクル率(平成23年度)

市	1人1日当たりのごみ排出量 (g)	リサイクル率 (%)
松戸市	771	24.7
船橋市	960	22.8
市川市	860	19.6
柏市	941	24.7

出典 関係市ホームページ及び本市清掃事業概要(環境計画課資料)をもとに作成

●近隣市比較 ごみ焼却施設の状況

市	施設数	稼働年	処理能力
松戸市	2	S55	200t/24h(100t/24h×2基)
		H7	300t/24h(100t/24h×3基)
船橋市	2	H1	375t/日(125t/日×3基)
		H4	435t/日(145t/日×3基)
市川市	1	H6	600t/24h(200t/24h×3基)
		H3	300t/24h(100t/24h×3基)
柏市	3	H12	256.5t/24h(85.5t/24h×3基)
		H17	250t/24h(125t/24h×2基)

出典 関係市HP及び本市清掃事業概要をもとに作成

政策14

環境にやさしい地域社会をつくります

3.大気汚染に係る物質を減らします

1. 現況と課題

大気汚染は、主に工場・事業場等から排出されるばい煙や自動車の排出ガス等によって引き起こされます。二酸化硫黄、二酸化窒素、光化学オキシダント、浮遊粒子状物質などの汚染物質について、平成23年度の測定結果では、ほとんどの項目において環境基準を達成していますが、光化学オキシダントについては環境基準を超過しています。

近年、都市部における大気汚染は、自動車排出ガスによる影響が大きいことや大気環境は気象の状態に左右されることもあり、長期的に地域の傾向を見ていく必要があります。

【特筆すべきニーズの変化】

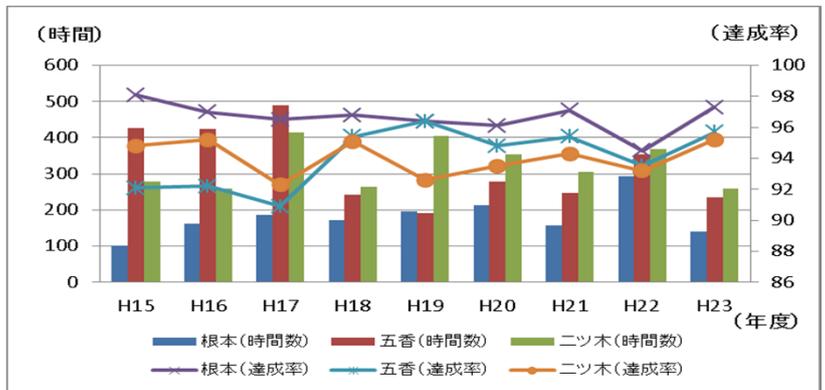
- ① 環境にやさしい車の普及の推進が求められています（ニーズの増）
- ② 一人ひとりが取り組める大気環境にやさしい運転についての普及が求められています（ニーズの増）

●松戸市の大気汚染監視測定局



●松戸市内の光化学オキシダントの経年変化

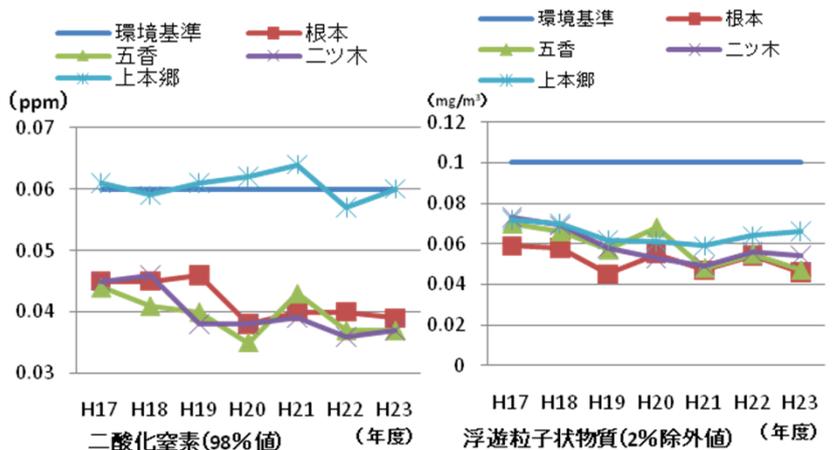
（屋間の1時間値が0.06ppmを超えた時間数及び達成率）



●大気汚染物質の環境基準

大気汚染物質	環境基準
二酸化硫黄 SO ₂	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。（S48.5.16告示）
一酸化炭素 CO	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。（S48.5.8告示）
浮遊粒子状物質 SPM	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。（S48.5.8告示）
二酸化窒素 NO ₂	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。（S53.7.11告示）
光化学オキシダント Ox	1時間値が0.06ppm以下であること。（S48.5.8告示）

●松戸市内の大気汚染物質の経年変化



出典 九都県市あおぞらネットワークホームページ

●自動車をめぐる環境問題の解決のために国や県などの行政に期待すること



光化学オキシダントとは、光化学スモッグの原因となる大気中の酸化性物質の総称。

二酸化窒素は、空気中または燃料の中に含まれる窒素が、物の燃焼や大気中に存在する酸素と反応していく過程で生成される。工場・事業場のほか、自動車も主な発生原因。

浮遊粒子状物質は、工場などから排出されるばいじんや粉じん、ディーゼル車の排出ガス中に含まれる黒煙など人為的発生源によるものと、土壌の飛散など自然発生源によるものがある。

2. 施策の展開方向

大気汚染を監視することによって、大気環境の把握に努めるとともに、大気汚染対策の一環として、低公害車の普及促進を図ります。

環境意識向上のため、大気保全の大切さや、環境に配慮した生活と行動のあり方などについて考える機会をつくり、市民への啓発活動に努めます。

3. 施策を推進していく上での課題

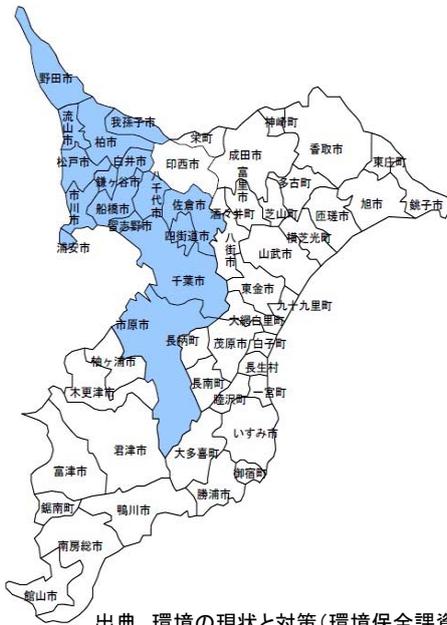
大気汚染物質は広域的なものであるため、今後も国、県と連携して監視を継続していく必要があります。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- 大気汚染を含む環境問題に関心が高い多数の市民がいます（強み）

●千葉県内の自動車NOx・PM法対策地域(16市の区域)

ディーゼル車から排出される割合が高い窒素酸化物（NOx）及び粒子状物質（PM）による大気汚染が問題となっています。



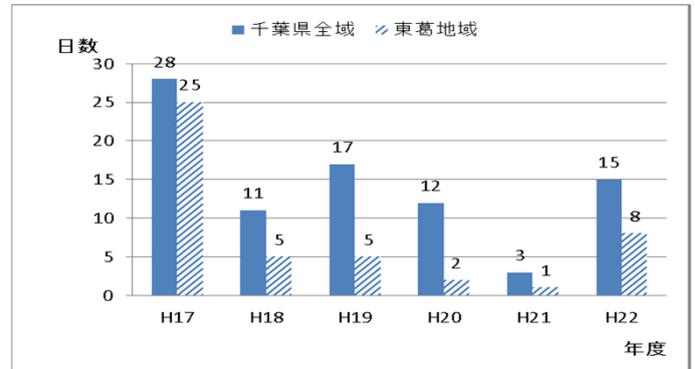
出典 環境の現状と対策(環境保全課資料)をもとに作成

●松戸市の電気自動車



●光化学スモッグ注意報発令日数の推移

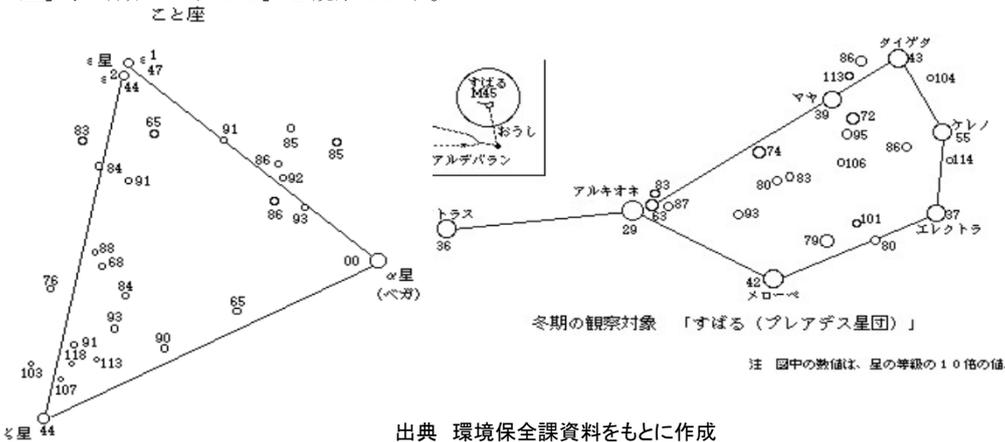
(平成19年度以降の東葛地域は松戸市該当発令日数)



出典 環境の現状と対策(環境保全課資料)をもとに作成

●全国星空継続観察スターウォッチングネットワーク

夜空の星が見えにくい理由のひとつとして、「大気の流れ」が考えられます。星の光は、地球の大気を通過するときに弱められますが、とくに、大気中のほこりや水滴などは星の光を屈折させたり散乱させたりするので、星の見え方と大気の状態には深い関係があります。等級の低い星を双眼鏡でどこまで見えるかを観察すると、大気の流れ具合がわかります。実際には、夏期は「こと座」、冬期は「すばる」を観察します。



出典 環境保全課資料をもとに作成

	等級	
	こと座	すばる
松戸市	8.4	7.9
全国平均	8.6	8.4
巨大都市	8.2	8.0
大都市	7.9	8.1
中都市	8.5	8.1
小都市	9.0	8.8

注) 等級は、天体の明るさを示す単位です。ここでは天体の見かけの明るさを示し、星自体の明るさを示す絶対等級とは別です。数字が1減るごとに2.512倍明るくなります。

政策14

環境にやさしい地域社会をつくります

4.生活上の不快要因を減らします

1. 現況と課題

本市の公害苦情は、騒音・振動・悪臭・大気汚染・水質汚濁・土壌汚染・地盤沈下・その他の8つに分類していますが、平成23年度の苦情の半数以上がごみの焼却行為などによる大気汚染に関するものです。近年、飲食店等のカラオケ騒音の苦情は、平成10年度をピークに大きく減少しています。

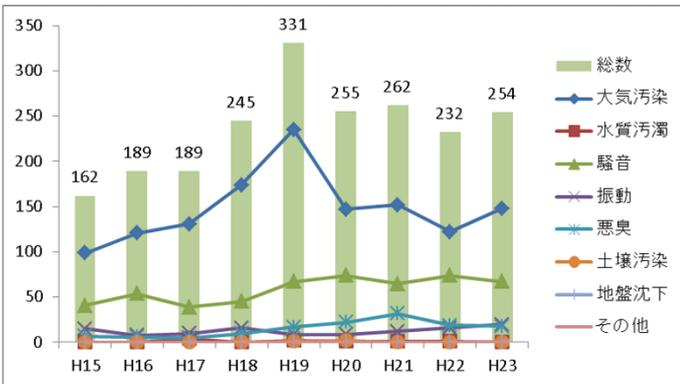
なお、平成23年度に4地点で実施した自動車騒音の測定結果では、国道6号で自動車騒音要請限度を超える結果となっています。

一方、公衆衛生上の観点からは、最近、空き地の雑草除去、その他公共下水や害虫に係る苦情などがあります。

【特筆すべきニーズの変化】

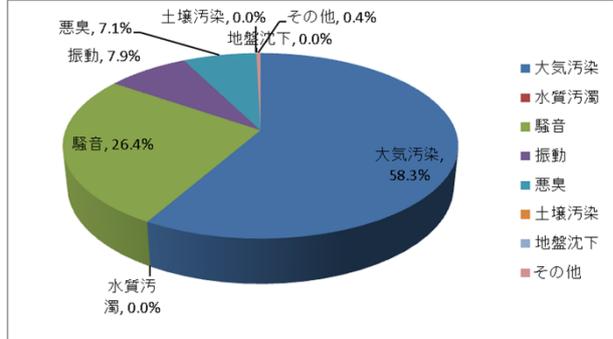
- ・自分の生活に係る他からの生活上の不快要因に関しては、民事的な事項が含まれているとしても、その解決を行政に求める傾向にあります（ニーズの増）

●松戸市内の公害の種類別苦情件数(当該年度受付分)の推移



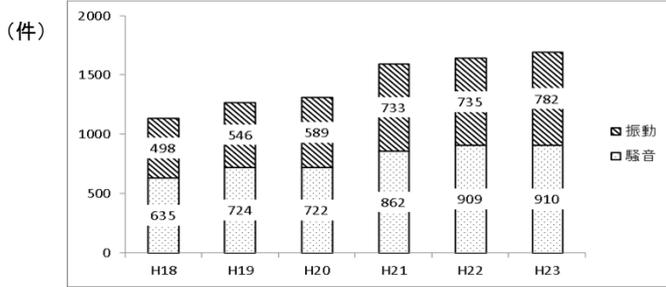
出典 環境の現状と対策(環境保全課資料)をもとに作成

●松戸市内の公害苦情の種類割合(平成23年度)



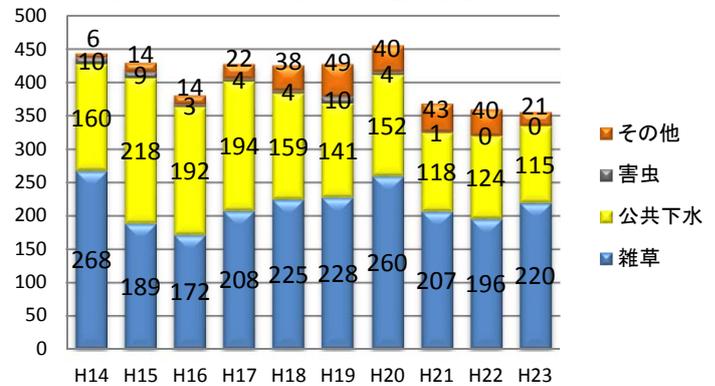
出典 環境の現状と対策(環境保全課資料)をもとに作成

●松戸市内の騒音・振動に関する特定建設作業の届出の推移



出典 環境の現状と対策(環境保全課資料)をもとに作成

●松戸市内の環境衛生に関する苦情の推移



出典 環境の現状と対策(環境保全課資料)をもとに作成

●環境保全等に関する松戸市民の意識

項目		十分満足している	まあまあ満足している	普通である	やや不満である	きわめて不満である	わからない	無回答
		ケ 緑地・河川などの自然環境	回答数 41 構成比 2.6%	282 18.0%	735 46.9%	281 17.9%	98 6.3%	64 4.1%
コ 空気のきれいさ、騒音・悪臭などの公害の少なさ	平成19年度	2.9%	19.8%	44.5%	19.5%	7.2%	3.2%	3.0%
	平成21年度	2.2%	17.3%	46.7%	19.4%	6.9%	4.0%	3.5%
	平成22年度(前回)	2.6%	18.0%	46.9%	17.9%	6.3%	4.1%	4.2%
	平成24年度(今回)	2.9%	19.1%	45.6%	17.8%	5.1%	5.5%	3.9%
	回答数 38 構成比 2.4%	263 16.8%	682 43.5%	373 23.8%	138 8.8%	33 2.1%	40 2.6%	
コ 空気のきれいさ、騒音・悪臭などの公害の少なさ	平成19年度	3.2%	15.5%	46.1%	21.8%	8.6%	2.1%	2.7%
	平成21年度	2.8%	18.0%	46.3%	19.6%	8.0%	2.4%	2.9%
	平成22年度(前回)	2.4%	16.8%	43.5%	23.8%	8.8%	2.1%	2.6%
	平成24年度(今回)	2.6%	17.1%	45.8%	20.5%	8.2%	3.1%	2.7%

出典 松戸市市民意識調査(平成24年度)

2. 施策の展開方向

市内幹線道路沿道の騒音、振動の状況を把握するため、自動車騒音及び道路交通振動の測定を行います。公害苦情対策の一つとして、市民、事業者向けのごみ焼却行為禁止のパンフレットを作成するなど啓発に努めます。

松戸の良さの一つとして、音環境を保全するため、心地よい音を残す啓発活動に努めます。

3. 施策を推進していく上での課題

関係法令による規制指導の強化とともに各種調査によって現状把握を行い、市民や事業者に対して環境対策に関する事項や規制内容についての情報提供に努めます。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ・公害苦情に対し、早期の解決が図られています（強み）

●自動車騒音要請限度に基づく松戸市内の測定結果(平成23年度) (単位:デシベル)

路線名	測定場所	用途地域	車線数	要請限度		測定値	
				昼間	夜間	昼間	夜間
国道6号線	松戸	準住居	4	75	70	74	74
	上本郷	商業	4	75	70	77	75
	二ツ木	準住居	4	75	70	74	73
主要地方道 市川松戸線	上矢切	2種住居	2	75	70	66	63

※調査期間 H23. 11. 14～12. 8

※調査地点は、原則として道路境界

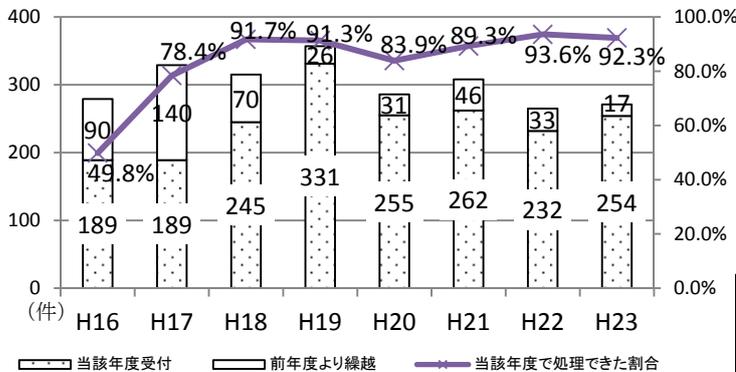
※測定値は、平日連続3日間の等価騒音レベル

※測定値が斜体文字は、要請限度を超過した値

※要請限度とは、自動車騒音で道路の周辺の生活環境が著しく損なわれていると認められるときに、市町村長が県公安委員会に道路交通法の規定による措置を執るよう要請する際の限度をいう。

出典 環境の現状と対策(環境保全課資料)をもとに作成

●松戸市内の苦情処理状況の推移



出典 環境の現状と対策(環境保全課資料)をもとに作成

●市民向け及び事業者向けのごみ焼却行為禁止のパンフレット

市民の皆さんへ

焼却による煙や臭いにより、洗濯物に臭いが付く・窓が開けられない等、ご近所の迷惑になります。ゴミの焼却は法律によって**禁止**されていますので行わず、市の収集に出すようにお願いします。

根拠法令：廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第16条の2

なお、違反しますと『五年以下の懲役もしくは一千万円以下の罰金に処し、又はこれを併科する』となります。

根拠法令：廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第25条

焼却禁止の例外としては、風俗慣習上の行事を行うために必要な場合や農業を営む場合などその他政令で定めるものがあります。

根拠法令：廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第16条の2

問合せ先
松戸市 市民環境本部 環境担当
環境保全課 大気騒音係
TEL: 366-7337(直通)

事業者の皆さんへ

焼却による煙や臭いにより、洗濯物に臭いが付く・窓が開けられない等、ご近所の迷惑になります。ゴミの焼却は法律によって**禁止**されています。

根拠法令：廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第16条の2

なお、違反しますと『五年以下の懲役もしくは一千万円以下の罰金に処し、又はこれを併科する』となります。

根拠法令：廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第25条

焼却禁止の例外としては、風俗慣習上の行事を行うために必要な場合や農業を営む場合などその他政令で定めるものがあります。

根拠法令：廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第16条の2

問合せ先
松戸市 市民環境本部 環境担当
環境保全課 大気騒音係
TEL: 366-7337(直通)

出典 環境保全課資料

●騒音の大きさの例

120 デシベル	飛行機エンジンの近く	
110 デシベル	自動車の警笛(前方2m) リベット打ち	
100 デシベル	電車が通るときのガード下	
90 デシベル	大声による独唱 騒々しい工場の中	
80 デシベル	地下鉄の車内 電車の中	
70 デシベル	電話のベル・騒々しい街頭 騒々しい事務所の中	
60 デシベル	静かな乗用車 普通の会話	
50 デシベル	静かな事務所	
40 デシベル	市内の深夜・図書館 静かな住宅地の昼	
30 デシベル	郊外の深夜 ささやき声	
20 デシベル	木の葉のふれ合う音 置時計の秒針の音(前方1m)	

出典 環境の現状と対策(環境保全課資料)

●千葉県内の“日本の音風景100選”認定一覧

柴又帝釈天界限と矢切の渡し 松戸市/東京都葛飾区	柴又帝釈天界限は、昔ながらの商店や参拝客の賑わいがある。江戸川に出ると川面を渡る手漕ぎの舟やヒバリ、ユリカモメの声を聞くことができる。
種橋の落水 佐原市(現:香取市)	伊能忠敬旧宅内の用水路から水を落とす種橋を復元したもの。落水は30分間隔で1日15回行われ、その水音にちなみ「じゃあじゃあ橋」と呼ばれる。市民ぐるみの町並み保全活動がある。
麻綿原のヒメハルゼミ 大多喜町	麻綿原一帯は、ヒメハルゼミの優れた生息地。合唱が好きなこの蝉は、数匹が鳴き始めると、山全体が震えるように一斉にジャージャーと鳴き始め、しばらくすると一斉に鳴き止む。

出典 環境の現状と対策(環境保全課資料)

●矢切の渡しの風景



出典 本市ホームページ